

臨時会・第4回教育委員会 開催

3月31日に臨時会、4月2日に平成26年第4回の町教育委員会を開き、次の議案について審議・承認されました。

【臨時会】

《報告》

- ・平成25年度末教職員人事異動について
教職員の人事異動について報告しました。

《議案》

- ①日野町教育委員会事務局職員の人事異動について
教育委員会事務局職員の人事異動について審議しました。
 - ②平成26年度準要保護児童生徒の認定について
平成26年度準要保護児童生徒の認定について審議しました。
- 《その他》

- ・平成25年度保小中一貫教育推進委員会各部会のまとめについて

【第4回委員会】

- 《報告》
 - ・平成26年度学校等在籍児童生徒数について
平成26年度の各小中学校、保育所の児童生徒数および学級編成について報告しました。

- ・平成25年度学校自己評価について

各学校による自己評価について報告しました。

《次の予定》

日時：5月2日（金）午前9時30分

場所：役場第1会議室

※会議は公開しています。お気軽におでかけください。

今月の子育ての知恵袋③ 「体験」から 題：芸術的センスのめばえ

公舎住まいのため、幼いころから壁の落書きは厳禁とした。机、タンスにシールを張ることも。そのせいか、絵画、音楽等の独創性、想像力の必要な分野が劣っている感じ。CMのように、用紙からはみ出すくらいの絵を描かせていれば良かったのかも。（黒坂 58歳 男）

日野町「子育ての知恵袋」より（平成24年3月 町教育委員会発行）

【日野町図書館 おすすめの1冊コーナー】

『アナグラム人名図鑑』

宇野亞喜良 / 絵 石津ちひろ / 文

読んでみたらんかな～

「^{こがねむし}黄金虫⇔^{ねこ}猫が^{むし}無視」「^{さくらがい}桜貝⇔^{くら}暗い^{さが}性」このように、文字の順番を並べ替えることによって、ある言葉を別の言葉へと変容させる遊びのことを『アナグラム』といいます。

今回紹介する本では、作家・詩人・翻訳家である石津ちひろさんが、歴史上の人物から、今も活躍する有名人の名前をアナグラムしています。まるで言葉の魔法のように、一つの言葉が別の言葉に変身します。そんな石津さんの魔法の言葉に添えられるのは、日本を代表する挿絵画家・イラストレーターの宇野亞喜良さんの絵。スケッチ風の絵で、とても魅力的です。中にはだたの似顔絵ではなく、アナグラムされた後の言葉を交えて絵を描かれていて、例えば「^{おおた}太田^{だい}大八⇔^{おほはち}抱いた^だ大蜂」では、大きな蜂を抱えた太田大八が描かれていたり、「^{みずはらし}水原秋^{しゅう}桜子⇔^お師は、^おウズラ^{しゅ}追う^み趣味」では、ウズラを懸命に追う水原秋桜子が描かれています。その人物とまったく接点のないものが描かれているかと思いきや、不思議と合っているのです。

私も自分の名前「^{たきた}瀧田^{あい}愛香」で作ってみました。「^あ赤い^{たい}タタキ」（カツオでしょうか）、「^あ鯛か、^あ飽きた」（なんて贅沢な）、「^あ逢いた^{かた}き方」（さて、誰でしょうか）う～ん難しいですね。（図書館 瀧田愛香）



●教育委員会から学校評価についてお知らせします

平成 19 年 6 月の学校教育法の改正により、「学校評価の実施による学校改善」と「学校の情報の積極的な提供」が義務づけられ、学校の教育水準の向上と地域に開かれた学校づくりが求められています。

学校評価の実施手法には、『自己評価（教職員）』『学校関係者評価（保護者・地域住民など）』『第三者評価（外部専門家など）』の 3 つがあります。今回は、昨年度に各学校の教職員が行った『学校自己評価』結果について学校別にお知らせします。各学校とも、一昨年度に比べて高評価だったようです。

【評価基準】 A＝達成できた（85^点以上） B＝だいたい達成できた（60 ～ 84^点）
C＝達成状況が不十分（40 ～ 59^点） D＝達成できなかった（39^点以下）

学校評価（黒坂小学校）

■黒坂小学校

評価項目	具体項目	目標の達成状況	自己評価
言語活動の充実と学力の向上	言語活動の充実	●「かわこっこ学び大作戦」が定着し、言語活動を重視した練り合いに持っていくためのノートづくりの指導に力を入れた結果、自分の考えをノートに書いて、それをもとに発表できる児童が増えてきた。 ●基盤となる学級経営を充実し、何でも言える学級を目指し、場をとらえた指導の結果、言語活動が充実してきた。	A
	指導と評価の一体化の充実	●児童の反応予想を徹底分析し、それに対応した支援をするよう心がけた結果、個に応じた支援が充実し、児童の学習意欲も向上した。 ●目標のはっきりした授業づくりに努め、それに対する児童の自己評価の充実を図り、指導と評価の一体化が進み、達成感のある授業づくりが進展した。	A
豊かな人間性の育成	豊かな体験活動の充実	●学習内容、体験内容にかかわる黒坂地区の支援ボランティア、日野高校、公共機関、住民の皆さんの協力を得て体験活動がさらに充実した。特に支援ボランティアによる協力が大きい。今後もぜひお願いしたい。	A
	人権教育・特別支援教育の推進	●学校・学級のきまりを守る、人の気持ちを考えた言動をすることについては、児童自身の自己評価からも課題が残る。 ●一貫した指導姿勢、学校としてのルールの順守などについては課題が残る。ぶれない学級経営が必要である。	B
家庭・地域との連携	基本的生活習慣の定着	●凡事徹底の「挨拶」はかなり良くなった。 ●メディアとの付き合い方、家庭学習の時間確保など課題も多い。自分の生活リズムを大切にした基本的生活習慣を形成することが課題である。	B
	家庭学習の推進	●課業日の宿題はしている。宿題以外の学習をしていない児童が、依然として多い。個に応じた学習の仕方を指導し、自主的な学習ができるようにしたい。	B
	地域との連携の推進	●地域の皆さんの方から関わっていただける環境を大切に、自分も地域の一員であるという自覚を高めたい。 ●支援ボランティアの充実により、地域の良さを見直すきっかけにもなったことはうれしいことである。	A